

株式会社 アイ・ティ・フロンティア

ユーザープロフィール

株式会社 アイ・ティ・フロンティア

本社：東京都中央区

発足：2001年4月1日

資本金：43億2,750万円

売上高：470億円（2010年3月期）

社員数：1,739名（2010年7月1日現在）

事業内容：総合商社で培った知見とノウハウを生かし、「信頼のITパートナー」として、お客様の経営戦略に沿ったIT戦略を総合的にサポート。お客様のビジネスとITベストプラクティスの理解に基づき、ITを活用した総合的な企画・設計・実装力と、安心・安全の運用力を安定的に提供。

<http://www.itfrontier.co.jp/>
Product Solution
SilkPerformer

customer success

SilkPerformerでスクリプト作成期間を5分の1に短縮 迅速かつ的確な手厚いサポート体制も高く評価

The company

株式会社アイ・ティ・フロンティアは、国内外に200超の拠点と500社を超える連結対象会社を有しグローバルにビジネスを展開する三菱商事株式会社の、ITサービス分野における中核企業です。三菱商事の基幹システムの開発や運用・保守で培った経験や実績を生かし、「信頼のITパートナー」として、お客様のビジネスとITベストプラクティスの理解に基づき、ITを活用した総合的な企画・設計・実装力と、安心・安全の運用力を安定的に提供し、お客様の企業価値向上に貢献します。

また、「人と技術が生きる価値創造企業」という経営ビジョンのもと、顧客企業の価値創造はもちろん、社員の価値、株主の価値、さらに社会の価値を高めるためのさまざまな取り組みを推進しています。コーポレートロゴには、「お客様とのパートナーシップにより、周囲との有機的なつながりを持ちながら、社会のIT環境を支え、ともに未来へ向かって発展していく」という、アイ・ティ・フロンティアの思いが込められています。

The challenge

アイ・ティ・フロンティアでは、受託しているシステム開発におけるソフトウェアの品質向上を目的として、2005年度よりコンピテンズセンター内にテストチームを編制して活動を開始しています。このテストチームでは、年間30件程度のプロジェクトに対して負荷テストを実施しており、すでに100件を超える実績を有しています。

当初、テストチームでは、SilkPerformerとは違う商用の負荷テストツールを使用して、負荷テストを実施していました。しかしこの負荷テストツールは、ネットワークプロトコルとして、HTTPしかサポートしていなかったため、実施できる負荷テストの範囲が限られてしまうという課題を抱えていました。技術・品質本部コンピテンズセンターの中島裕氏は、次のように語ります。

「最近では、Adobe FlexやSOAPなど、HTTP以外のプロトコルを使用している開発プロジェクトからの負荷テストの依頼が多くなったため、HTTPにしか対応していない負荷テストツールでは対応が困難になっていま



技術・品質本部コンピテンズセンター
中島 裕氏

した。また、この負荷テストツールでは、バイナリデータから必要な値を見つけ出し、負荷テスト用のスクリプトを作成しなければならなかったため、作業負荷も高くなっていました」

こうした課題を解決するためにアイ・ティ・フロンティアでは、新しい負荷テストツールの導入を検討。いくつかの製品を比較検討した結果、2008年9月にSilkPerformerの導入を決定しました。

The solution

アイ・ティ・フロンティアのテストチームでは、SilkPerformerを利用し、開発部門からの依頼に応じた負荷テストを実施しています。負荷テストの手順としては、まず負荷テスト計画書をテストチームで作成し、負荷テストの準備作業を行い、SilkPerformerで負荷テストを実施。分析結果の報告書を作成してチーム内で情報共有を行っています。

負荷テストツールとしてSilkPerformerを採用した最大の理由を中島氏は、次のように語ります。「ある負荷テストツールは、対応プロトコルは問題ありませんでしたが、驚くほど高価でした。逆に価格が安い負荷テストツールは、対応プロトコルが少なく、実用的ではありませんでした。対応プロトコルと価格、両方の条件を満たしていたのがSilkPerformerでした」

